

## 生きた化石の

### 連作和歌 百首歌集

2007/1/15-4/3

7701	二億五千万年まえの古生代いきた化石の銀杏は聳ゆ	れん	1月15日 00時32分
7702	朝のミサ終へて出逢ひし彼の人と共に野の花ヴェロニカ覓(もと)む	丹仙	1月15日 23時59分
7703	冬苺を摘まむと冬の野をゆけり兔に変身せし子を連れて	たまこ	1月16日 06時30分
7704	裸木のきみの仙骨なでつ云ふ明日は咲くさねウソだけど	海月	1月16日 18時29分
7705	百穴のなだりにはつか萌ゆるもの裸木のさきに春ぞくるらむ	れん	1月16日 23時24分
7706	ヒース咲く丘にブロンテ姉妹立つ諸手をひろげ眉青くして	真奈	1月17日 00時08分
7707	春は青 夏は朱なり秋は金 冬の玄(くろ)きのぬばたまに雪	深海鮫鱈	1月17日 15時46分
7708	夜の雪に幽かに覗く黄の色は歳の始めの蠟梅の花	丹仙	1月18日 09時42分
7709	紅梅のいよよ盛るを計りては今年の寒の和らかなるを	蘇生	1月19日 08時45分
7710	紅れないの河津桜咲にけり天城風も柔らかに吹く	弁慶	1月19日 09時16分
7711	けむるごと寒紅梅のやさしさよアシンメにカット銀の髪はも	れん	1月19日 13時29分
7712	闊歩して裾ひらひらとアシンメトリー花の精かな風の精かな	真奈	1月19日 14時48分
7713	こまやかな雪がゆらゆら雨もよいぬくき冬なりけふの大寒	蘇生	1月20日 08時25分
7714	四六年前の悪童よみがへり心は熱き大寒の宴	丹仙	1月21日 20時42分
7715	プリザーブド枯れぬ薔薇ならけふの日の褪色とどめよ大寒の空	ギオ	1月21日 21時32分
7716	初めてか再会かなるか束の間を心理の深さひたすら尋ぬ	れん	1月21日 22時14分

7717	冬枯の涙の青の小さき花けふまた尋ね歩く東の間	丹仙	1月21日 23時06分
7718	冬枯れの富士の裾野の朝まだき頂染める朝日影かな	弁慶	1月22日 00時00分
7719	人も舟も翻弄し尽す波の爪ころ託せし北斎の富士	真奈	1月22日 06時30分
7720	オリーブをくわえ来たるはかの鳥よ波も水はもひきて富士 不毛	れん	1月22日 07時38分
7721	花桃の枝に満ちたる花の芽の景に逆巻く寒の潮かな	蘇生	1月22日 09時23分
7722	渦を巻き速き流れの潮見て過ぎ去り行きし時を思えり	弁慶	1月22日 23時16分
7723	纜を海図も持たず解く青春の胸に小さき冬薔薇を抱き	真奈	1月23日 08時55分
7724	老境に立ちてはみても尚更に生きることとは混沌なること	蘇生	1月23日 15時22分
7725	とげもつ身いまさらのごと混沌をはらみてひとつの本をぞ買ひし	れん	1月23日 17時33分
7726	目鼻なきものこそ殺すことなかれ湯川博士の若き日の手記	丹仙	1月23日 23時43分
7727	いつの世かきりぎしにある身なりしやこころ病みみき今を彷徨ふ	れん	1月24日 03時01分
7728	生あれば生さえあれば目覚めては愁う淵にも思う樂あり	蘇生	1月24日 17時49分
7729	生かされてこの世在る身の旅なれば大悲の翳に憩ふ鳥やも	真奈	1月25日 09時14分
7730	眠剤と安定剤と肩解し寒三日月のしょんべんは生	海月	1月26日 12時34分
7731	長かりし話のビリオドつきたるや眠剤デパス朝の覚めたり	れん	1月26日 14時58分
7732	不眠言ふ母にドクターの冗談は一生日覚めぬ薬出しましょうか？	雛菊	1月26日 17時58分
7733	眠いとき眠るが眠法第一条眠剤のまず弦楽を聴き	真奈	1月27日 06時46分
7734	夜のきて眠るを仮の死と言はず朝なる目覚め日々の復活ぞ	れん	1月28日 09時07分
7735	一日これ一生とせば今日の苦も幾世積みきし因果とせむか	ギオ	1月28日 15時03分
7736	残されし時間（とき）愛しみて日々新たときめく出逢ひ人と言葉と	真奈	1月28日 16時53分
7737	そうなんだ逢うことなんだ大事はね爪先寒い空気ないねん	海月	1月30日 23時24分

7738	息詰まり空気が無いと夜半に覚む遠き記憶のとき甦りくる	れん	2月2日 09時33分
7739	四姉妹集ひ墓前にかしこめどたちまち遠き故郷の庭	文枝	2月2日 20時01分
7740	淋しきは主なき衣装に囲まれて記憶に耐ふるトニー滝谷	ギオ	2月4日 01時25分
7741	在りし日のはにかむ父母のツーショット小庭の春の芽吹きの中に	蘇生	2月6日 16時38分
7742	この園に知られずかつて生きし人よ白梅はまた満開に咲きました	真奈	2月7日 06時52分
7743	柔らかき日差しのひびに白梅の君が命日つかのまにめぐる	れん	2月7日 23時28分
7744	奥津城は白梅紅梅咲くところ試験の前の学生ら祈る	千種	2月8日 22時48分
7745	梅の里近くに棲みて雪富士の近くに棲める友を想へり	文枝	2月9日 20時40分
7746	六月の白い花のやうに自裁せる友よその胸に「鞭と獨楽」を抱き	真奈	2月10日 06時43分
7747	人生は記憶のしがらみ哀別は色濃き糸の断たれし後に	ギオ	2月10日 14時36分
7748	ベタル踏む籠にどっさり紅白梅身近に迫る老々介護	文枝	2月12日 20時52分
7749	うすらひをこはさぬやうにもちあげん母はほほゑむ母はほほゑむ	ぽぽな	2月13日 08時17分
7750	白梅のほほえむ如く咲きにけり小夜の中山風やわらかく	弁慶	2月14日 00時12分
7751	見上げつつあいさつ交わしバスを待つ目線は紅き梅二月かな	蘇生	2月14日 06時18分
7752	二時間に一台くるバス待ちをれば紅梅匂ふ山峡の駅	真奈	2月17日 22時06分
7753	オーロラは時を知らずや極北の大地にて待つわれは古希なり	蘇生	2月18日 05時37分
7754	人生七十古来稀なりオーロラ仰ぐ人を羨む	弁慶	2月18日 09時32分
7755	仰ぎみる華甲なる人古希の人桃李の園は花ぞ満ち満ち	寂	2月18日 11時29分
7756	天頂に北極星のありつべし満天の星オーロラの空	蘇生	2月19日 02時49分
7757	アウロラの真下に立ちて仰ぎ見る色の帖のその美しき	弁慶	2月19日 20時51分
7758	金の矢を番へて春の祝祭の満天の星放ちやるかな	真奈	2月19日 20時58分

7759	春は名のみならずして白木蓮の花咲きにけり	弁慶	2月21日 23時17分
7760	春の宵翼傾けてゆるやかに帰り来るなりマレーシア航空	千種	2月23日 08時47分
7761	変らざる春の芽吹きを嘉すれば果なき人の言葉悲しも	ギオ	2月24日 00時23分
7762	果てもなきオーロラ出ずる時はいつ吾が待つ旅の今宵に賭けむ	蘇生	2月24日 17時54分
7763	窓の外オーロラ舞へり鶴のごと極北を飛ぶ機上にワイン	深海鮫鯨	2月27日 10時55分
7764	極北の闇にオーロラブレイクす東に西に天を裂くなり	蘇生	2月27日 11時14分
7765	オーロラを光のダンスに例へればブルース？ワルツ？マンボかチャチャチャ？	雛菊	2月28日 00時22分
7766	旅立ちは四拾億年前とかや地球を廻せ光る振り子よ	丹仙	2月28日 01時00分
7767	極北の黙示の光ワルキューレ拍車響かせ空を裁ちゆく	真奈	2月28日 06時31分
7768	極北のあの夜の光り忘れめや歓喜に伏せしオーロラの下	蘇生	2月28日 07時39分
7769	重力の光の理論もちいたる歌人も詠みぬシュルル紀の生命（いのち）	れん	2月28日 10時23分
7770	満天のあのオーロラの激しさに出合いてわれはまだ醒めやらぬ	蘇生	2月28日 18時45分
7771	美しき少年攫ふアウロラの恋の一瞥天を震はす	真奈	3月3日 01時18分
7772	ソフィアてふ知恵の女神を伴ひて空に旅立つ朝の一瞥	丹仙	3月5日 05時52分
7773	高階の窓の四角に春の雪下から上へ下から上へ	ぽぽな	3月6日 06時03分
7774	窓辺にはミモザの花の咲く頃かと偲はゆ逢はぬ人のごとくに	ギオ	3月7日 01時34分
7775	逢へぬ日の雨柔らかきみもご館慕はしき刻流る珈琲	真奈	3月11日 07時09分
7776	老木のミモザに春がめぐりきて淋しきまでに闌けりけるかな	蘇生	3月12日 06時05分
7777	めぐりくるにわかひの冷えは身にしみぬあたりを闌ける沈丁の香ぞ	れん	3月15日 07時52分
7778	東の間の冷氣払ひし日の出かな美国加州の夏始まりぬ	丹仙	3月16日 01時36分
7779	まちまちの花の予報の無粋なるすでに闌たり春の息の緒	蘇生	3月16日 06時17分

7780	衰へし息の緒たもち人間のつとめ果たさむささやかなれども	れん	3月16日 06時39分
7781	麴麴一つ乳酪一つ朝餉終へけふ一日のつとめ祈らむ	丹仙	3月16日 20時32分
7782	年来の日々の朝餉は相似たりニュースに疎き日々になりても	蘇生	3月17日 05時50分
7783	目覚めてし朝を静に牡丹雪くれなひ震ふ玄海躑躅	れん	3月17日 08時05分
7784	目覚むれば檸檬の馨り何処からクレアモントの静かなる朝	丹仙	3月18日 12時13分
7785	グーグルで遠くはるかな街を追いクレアモントの朝を思えり	蘇生	3月18日 16時44分
7786	天よりの初雪やみて夕つかた旅だちてゆく君が生命（いのち）はも	れん	3月20日 00時16分
7787	韓（HAN）の國恨（HAN）に苦しむ民衆（MINJUNG）の生命の歌を異郷にて聴く	丹仙	3月23日 01時04分
7788	桜さくら逢ふては別るるならひゆゑ春は苦しき胸もて生くる	ギオ	3月24日 01時23分
7789	花にそむ心のなか捨てざらん忍びてゆかな熱き胸もて	真奈	3月24日 01時53分
7790	(法要三昧) ほしいふき ガラスを透かし 入りぬれは 嬉しく聞こゆ うぐいすの声	眞	3月24日 10時24分
7791	夢さめて久しきのちの皆に逢え春の霞にハツノ笑顔が	勝	3月24日 16時45分
7792	花見する人なき異国くれなゐにクレープ・マートルいつまでも咲く	丹仙	3月24日 21時34分
7793	初花の千鳥が淵の楚々としてさわることなき静かなる午後	蘇生	3月25日 07時26分
7794	さくらの木幹も蕾も赤々と微熱を発す静かなる朝	雛菊	3月27日 19時53分
7795	見上げれば桜の花の間から昼の月みゆ林間の道	弁慶	3月27日 21時00分
7796	花便り頻々として列島に爽気満ちゆく嬉しきことよ	蘇生	3月28日 10時26分
7797	台北はなどでか寒し曇天の空あやしみて火車を待つなり	丹仙	3月29日 04時46分
7798	遠国の台北の町新幹線一路南へ驀進すと聞く	弁慶	3月29日 08時33分
7799	見上ぐれば夜桜開けて包むごとオンブラ・マイ・フの旋律聞こゆ	ギオ	4月3日 02時18分
7800	ある時のドイツ支配のシンボルの館の今は青島(チンタオ)の春	蘇生	4月3日 06時06分